



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 東京汽船株式会社

コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼経理部長

(氏名) 伊藤 英津生

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,120	4.7	146	258.2	247	58.6	186	168.3
24年3月期第1四半期	2,980	△7.0	40	△81.4	156	△53.9	69	△58.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 201百万円 (154.6%) 24年3月期第1四半期 79百万円 (△33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	18.73	—
24年3月期第1四半期	6.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,186	16,567	71.3
24年3月期	21,779	16,442	72.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,813百万円 24年3月期 15,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,440	3.4	404	53.0	529	19.6	343	27.8	34.52
通期	12,581	1.9	541	2.8	791	△8.2	540	12.5	54.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	10,010,000 株	24年3月期	10,010,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	54,200 株	24年3月期	53,527 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	9,956,136 株	24年3月期1Q	9,957,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)の日本経済は、東日本大震災の復興需要により企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、欧州通貨危機を背景にした円高の継続、株価低迷、電力供給不安の影響で依然景気の先行きの不透明さは払拭されておりません。

こうした環境下、当社グループの業況は、主力の曳船事業が入出港船舶数の減少により減収を余儀なくされたものの、旅客船事業、売店・食堂事業の売上高は震災の影響から回復しつつあり、グループ全体の売上高は3,120百万円(前年同期比4.7%増)となりました。利益面では営業利益が146百万円(前年同期比258.2%増)、経常利益が247百万円(前年同期比58.6%増)、四半期純利益は186百万円(前年同期比168.3%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業セグメントは、曳船作業対象船舶の東京湾への入出港数がコンテナ船をはじめ減少したため曳船作業数は減少しました。前年同期に比べて燃料油価格調整金の増加はあったものの、売上高は2,279百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

利益面では売上高が減少した一方、コスト削減により売上原価が減って営業利益が137百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

旅客船事業

旅客船事業セグメントは、カーフェリー部門においてはアクアラインの通行料金値下げの浸透という悪影響があったものの、利用客は緩やかながらも回復傾向が見られるようになりました。

横浜港の観光船部門は季節ごとのイベント企画が好評であったことと、震災の影響による前期の落ち込みからの回復により乗船人数が増加しました。一方交通船部門は湾内高速艇運航受託船が1隻増加したことから増収となり、両部門併せての売上高は34.3%の増加となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は626百万円(前年同期比30.5%増)となり5百万円の営業利益(前年同期は67百万円の営業損失)となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業セグメントは、客数が団体客についての動きは鈍いものの、全体的には緩やかな回復傾向をたどりました。売上高は214百万円(前年同期比20.3%増)となり、営業利益3百万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、406百万円増加し22,186百万円となりました。これは主に現金及び預金が293百万円増加し、減価償却が進んだことで船舶が225百万円減少しましたが、土地及び建物の取得等を中心とした設備投資が334百万円発生したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、282百万円増加し5,618百万円となりました。これは、主に賞与支給が第2四半期になるため賞与引当金が159百万円増加し、未払法人税等が138百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、124百万円増加し16,567百万円となりました。これは主に当第1四半期連結会計期間に持分法適用会社を1社新規に取込んだことで73百万円増加したことに加え、第1四半期純利益が186百万円計上されましたが、剰余金の配当を149百万円実施したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.8%減少し71.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降につきましては、依然として、燃料油価格の動向、欧州経済の行方、円高定着懸念など不確定要素が多く引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,530,092	7,823,263
受取手形及び売掛金	2,391,791	2,351,150
商品	23,039	26,299
貯蔵品	124,153	107,612
繰延税金資産	104,017	176,307
その他	305,574	283,582
貸倒引当金	△4,782	△4,035
流動資産合計	10,473,886	10,764,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	314,777	395,794
船舶(純額)	4,629,761	4,404,028
土地	1,292,730	1,435,628
その他(純額)	44,030	132,724
有形固定資産合計	6,281,299	6,368,175
無形固定資産		
	48,137	56,832
投資その他の資産		
投資有価証券	1,447,586	1,395,714
関係会社株式	1,771,613	1,826,455
繰延税金資産	226,085	248,151
その他	1,577,904	1,570,215
貸倒引当金	△47,006	△43,589
投資その他の資産合計	4,976,184	4,996,947
固定資産合計	11,305,621	11,421,955
資産合計	21,779,507	22,186,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,001,585	931,860
短期借入金	1,653,670	1,678,671
未払法人税等	32,990	171,887
役員賞与引当金	35,000	8,750
賞与引当金	217,274	376,425
その他	232,530	307,672
流動負債合計	3,173,052	3,475,267
固定負債		
長期借入金	97,535	90,035
退職給付引当金	1,111,900	1,103,953
役員退職慰労引当金	364,911	371,187
特別修繕引当金	338,751	337,065
繰延税金負債	148,044	143,571
資産除去債務	2,855	2,865
負ののれん	81,086	77,647
その他	18,435	17,062
固定負債合計	2,163,518	2,143,387
負債合計	5,336,570	5,618,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,379,260	15,490,356
自己株式	△39,400	△39,711
株主資本合計	15,915,716	16,026,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,562	△27,588
為替換算調整勘定	△218,246	△185,364
その他の包括利益累計額合計	△213,683	△212,952
少数株主持分	740,903	753,931
純資産合計	16,442,936	16,567,481
負債純資産合計	21,779,507	22,186,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,980,383	3,120,448
売上原価	2,418,605	2,457,886
売上総利益	561,777	662,562
販売費及び一般管理費		
販売費	67,869	75,060
一般管理費	452,957	440,808
販売費及び一般管理費合計	520,827	515,868
営業利益	40,950	146,694
営業外収益		
受取利息	2,357	2,306
受取配当金	33,761	16,344
負ののれん償却額	3,438	3,438
持分法による投資利益	61,452	71,764
その他	21,689	14,328
営業外収益合計	122,699	108,183
営業外費用		
支払利息	6,859	6,587
その他	503	426
営業外費用合計	7,362	7,013
経常利益	156,287	247,864
特別利益		
受取保険金	8,179	—
固定資産売却益	—	46,202
特別利益合計	8,179	46,202
税金等調整前四半期純利益	164,466	294,067
法人税、住民税及び事業税	141,984	171,881
法人税等調整額	△61,036	△80,231
法人税等合計	80,947	91,649
少数株主損益調整前四半期純利益	83,519	202,417
少数株主利益	14,015	15,963
四半期純利益	69,503	186,453

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,519	202,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,034	△33,742
持分法適用会社に対する持分相当額	11,688	32,881
その他の包括利益合計	△4,346	△861
四半期包括利益	79,172	201,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,500	187,184
少数株主に係る四半期包括利益	13,672	14,371

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,322,250	480,130	178,003	2,980,383	—	2,980,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,890	12,346	1,204	15,440	△15,440	—
計	2,324,140	492,476	179,207	2,995,823	△15,440	2,980,383
セグメント利益又は損失(△)	118,254	△67,683	△9,620	40,950	—	40,950

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,279,796	626,542	214,109	3,120,448	—	3,120,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,145	16,090	1,109	19,345	△19,345	—
計	2,281,942	642,633	215,218	3,139,794	△19,345	3,120,448
セグメント利益	137,841	5,711	3,141	146,694	—	146,694

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。